

# 資料1 「めあて—まとめ・振り返り」を生かした授業づくり〈板書〉

問題 ジュース  $\frac{2}{5}$  Lと  $\frac{1}{5}$  Lをあわせると何Lですか。

分母は同じだね。

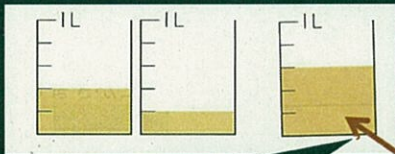
式  $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$

整数ならかんたんだけど、分数でもたし算できるのかな。

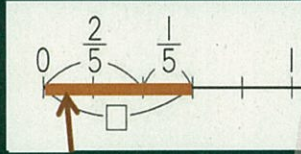
**めあて** 分母が同じ分数のたし算の仕方を考え、説明しよう。

- ・答えも分数になりそうだ。
- ・分子も分母もたしてはどうか。
- ・「1Lます」の図をかくて考えよう。
- ・線分図で表してみよう。

答えが1をこえてもいいの？



1Lを5つに分けた「ます」を使っているから、たし算をしても分母は同じだ。



1を5つに分けた3つ分なので、答えは  $\frac{3}{5}$

式  $\frac{2}{5} + \frac{1}{5} = \frac{3}{5}$

答え  $\frac{3}{5}$  L

もどになる分数

$\frac{1}{5}$  が何こ分になるかを考えると...

**まとめ**

分母が同じ分数のたし算は、もどになる分数の何こ分になるかを考えれば、整数と同じように計算することができる。

練習問題

- ①  $\frac{2}{7} + \frac{3}{7}$  の計算の仕方を考えて、説明しよう。
- ②  $\square + \triangle$  ←□や△にいろいろな数を入れて計算しよう。

$\frac{2}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  が ② こ

$\frac{1}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  が ① こ

整数で計算できる！

あわせて、

$\frac{1}{5}$  が (2+1)こなので

$\frac{3}{5}$  になります。

# 資料2 「めあて—まとめ・振り返り」を生かした授業づくりのチェックリスト

**初級**

**中級**

**上級**

めあて

- 本時の単元名やタイトルを「めあて」として提示している。
- 教師が用意した「めあて」を設定し、提示している。

- 本時のゴールイメージから「めあて」を構想している。
- 「まとめ」と「めあて」が正対している。
- 子供の疑問や気付きをもとに「めあて」を設定し、提示している。

- 追究に向けての必然性や意欲を持つことができるよう、課題を子供から引き出し、「めあて」として提示している。
- 子供が自ら「めあて」を設定することができるよう、既習事項との相違点や共通点を明らかにしている。

まとめ

- 教師主導で本時の「まとめ」を行い、板書等で提示している。

- 子供の発言から「まとめ」を作成し、板書に整理している。
- 教科ならではの学習用語を取り入れている。
- 全ての子供がアウトプットする場を設定している。

- 子供が自分の力でまとめることができるよう、必要なキーワードを子供から引き出し、板書に整理している。
- 理解確認のための問い返しをすることで、全ての子供が「まとめ」について具体的にアウトプットできるようにしている。

振り返り

- 感想や質問を書く時間を設定している。
- ノートやワークシートに振り返りの記入欄を設けている。

- 具体的に振り返ることができるよう、振り返りの視点を示している。

- 振り返りに対して教師が価値づけや問い返しを行うことで、「何が分かり、できるようになったのか」を全ての子供が自覚できるようにしている。

ゴールイメージ